

学長あいさつ

今年度新たに、みはら市民大学学長を命じられました豊田実夫と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本学は、昭和48年に三原高齢者教室として発足以来、三原市老人福祉大学、三原市老人大学、そして令和2年8月に三原小学校北舎から三原駅前のペアシテイ三原西館3階へと移転し、名称も「三原市老人大学」から「みはら市民大学」に変わりました。「みはら市民大学」はその名にふさわしい学びの場として、55歳以上の多くの市民の皆様に入學して頂いております。本年度は大学、大学院併せて35教科68コース、延べ1,104名の皆さんに受講していただくことになりました。

本学の魅力は一人で学ぶ「独学」とは異なり、講師の先生から直接指導を受け、専門的な知識や技能の理解・習得を一層深めることができます。学びの深まりがその後の活動の原動力になっています。また、多様な知識と経験を持つ仲間と共に学ぶ、楽しさや充実感も大きな魅力です。日々の学習の場はもちろん、大学祭など様々な発表の場を通じての親交は人生をさらに有意義なものにしてくれることでしょう。

本学には修了はあっても卒業はありません。意欲と元気さえあれば、いつまでも学び続けることができます。すべての学生の皆さんが本学の目指す「楽しみから喜びへ 学んで輝き伝えて輝く」テーマの実践者になっていただきたいと願っています。

